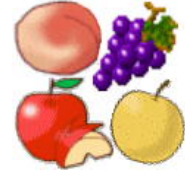




平成27年度 果樹情報 第8号

(平成27年7月3日)



福島県農林水産部農業振興課

1 気象概況（6月後半：果樹研究所）

6月後半の平均気温は、4半旬が19.6℃で平年より0.9℃低く、5半旬が21.4℃で平年より1.1℃高く、6半旬が20.1℃で平年より0.8℃低く、この期間の降水量は74.5mmで平年の91%でした。

2 土壌の水分状況（7月1日現在）

果樹研究所における土壌水分（pF値：無かん水・草生栽培りんご園）は、深さ20cmが2.2で適湿、深さ40cmと60cmが2.8で乾燥状態にあります。

3 生育状況（果樹研究所）

(1) もも

ア 果実肥大（7月1日現在 暦日比較）

「あかつき」の縦径は50.7mmで平年比108%、側径が52.4mmで平年比116%、「ゆうぞら」の縦径は50.3mmで平年比109%、側径が45.5mmで平年比111%と各々平年より大きい状況です。

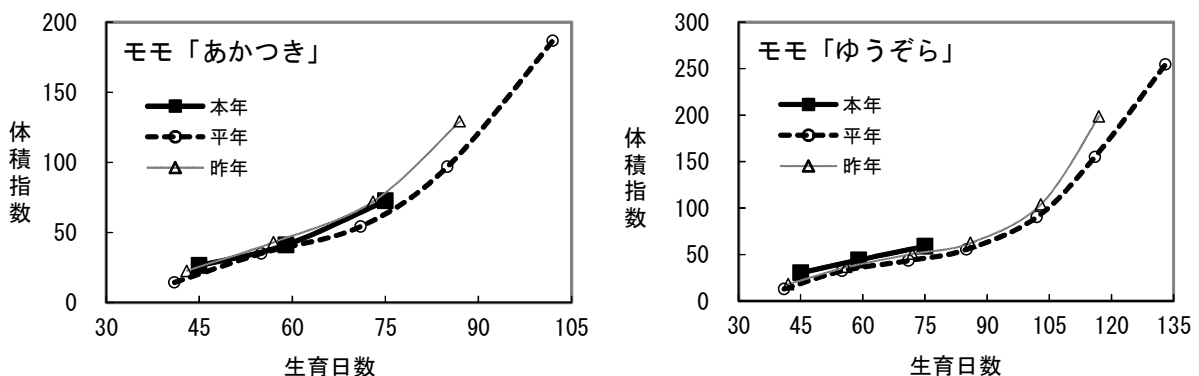


図1 ももの果実肥大

イ 新梢生長（満開後70日 品種：あかつき）

新梢長は平年比86%と短く、展葉数は平年比119%と多く、葉色（SPAD値）は平年比108%と濃いものの、新梢停止は早い状況でした。

ウ 核障害の発生（満開後66日 品種：あかつき）

核頂部亀裂の発生率は55%で平年並でしたが、縫合面の割裂は50%と平年より多い状況でした。

エ 硬核期終了日と収穫期予測（品種：あかつき）

硬核期間は平年よりやや短く、硬核期の終了は6月22日頃でした。また、7月1日現在のDVRモデルによる収穫期の予測では、収穫開始は7月24日頃、収穫盛期は7月28日頃で平年より9日程度早くなる見込みです。

(2) なし

ア 果実肥大 (7月1日現在 暦日比較)

「幸水」の縦径は37.5mmで平年比119%、横径が46.3mmで平年比125%、「豊水」の縦径は38.0mmで平年比115%、横径が41.8mmで平年比119%と各々平年より大きい状況です。

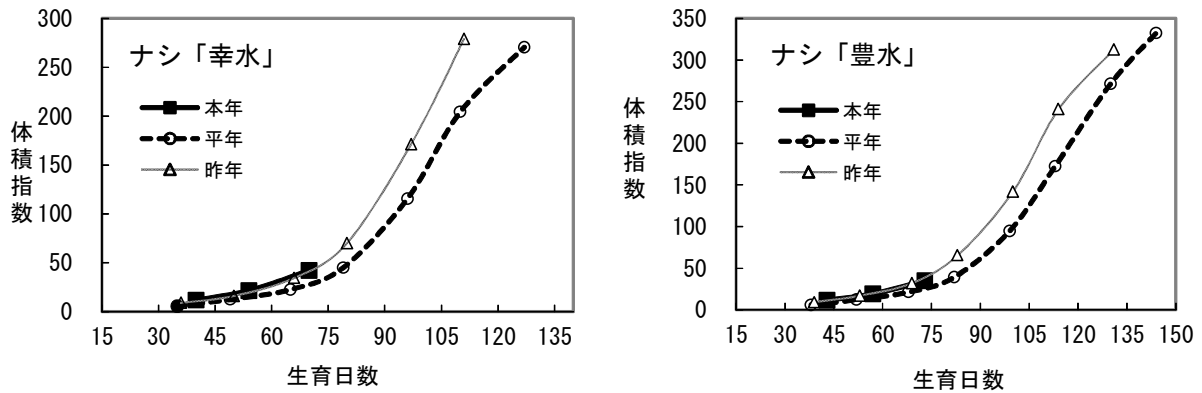


図2 なしの果実肥大

イ 新梢生長 (満開後60日 品種：幸水)

予備枝新梢長は93.2cmで平年比95%と平年よりやや短く、不定芽新梢長は93.5cmで平年比108%と平年より長い状況でした。

ウ 生育予測 (7月1日現在 品種：幸水)

DVRモデルによる収穫予測では、収穫盛期が8月25日頃で平年より8日程度早いと予測されます。また、同モデルによる裂果初発日は7月6日頃 (満開後75日頃) と予測されます。

(3) りんご

ア 果実肥大 (7月1日現在 暦日比較)

「つがる」の縦径は53.8mmで平年比110%、横径が62.2mmで平年比114%、「ふじ」の縦径は46.9mmで平年比107%、横径が52.7mmで平年比114%と各々平年より大きい状況です。

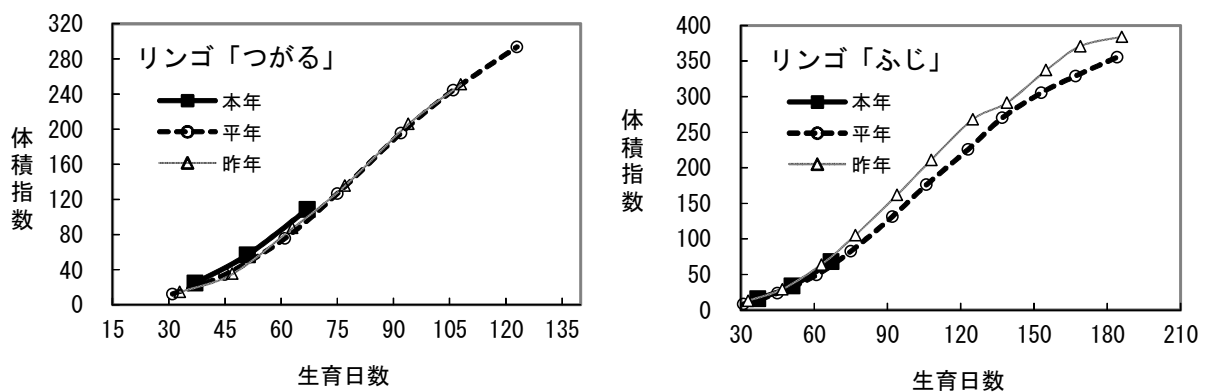


図3 りんごの果実肥大

イ 新梢生長 (満開後50日 品種：ふじ)

新梢長は22.3cmで平年比118%と平年より長く、目通り部付近の葉色 (SPAD値) は47.5で平年よりやや低い状況でした。

(4) ぶどう

ア 新梢生長（発芽後70日）

「巨峰（有核栽培）」の新梢長は、69.4cmで平年比86%と短く、展葉数は14.3枚で平年比94%とやや少ない状況でした。

東北地方1か月予報(仙台管区气象台 平成27年7月2日発表)

今後の気温の経過は、1週目（7月4日～7月10日）は高い確率が60%、2週目（7月11日～7月17日）は高い及び平年並の確率が各々40%、3～4週目（7月18日～7月31日）は平年並の確率が40%となっています。

※ 気象庁では「天気予報」以外にも下記の情報も発表しておりますので、これらも参考にして管理作業や防霜対策を進めましょう。

○ 季節予報

1か月間や3か月間といった期間全体の大まかな天候を3つの階級で予報しています。

URL: <http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/>

4 栽培上の留意点

(1) もも

ア 早生品種の収穫

現在、早生品種の収穫が始まっています。核障害により胚に障害を持つ果実は成熟が早まる傾向にありますので、果肉の軟化に注意し収穫が遅れないよう注意しましょう。

イ 修正摘果

あかつき等では、果実に肥大差が見られるようになったら修正摘果を実施しましょう。

特に ① 果頂部が変形している果実や縫合線が深い果実

② 果面からヤニが噴出している果実

③ 果皮および果肉が変色している果実

④ 果頂部の着色が早い果実

等は、核や胚に障害がある場合が多いので、これらに注意して摘果を行いましょう。

また、核障害の発生が多い園では、修正摘果は2～3回に分けて実施し、形質の良い果実を残すように努めましょう。

ウ 中生品種の収穫前管理

「あかつき」等の中生種では、今月上～中旬頃から着色期に入ると見込まれますので、夏季せん定、枝吊り・支柱立て、反射シートの敷設等、収穫前の管理作業は計画的に実施しましょう。

(2) なし

ア 新梢管理

幸水の新梢は、裂果初発日（今年の予測日：7/6）の3日後頃に停止します。新梢の誘引は、生育が旺盛な時期に実施すると効果的ですので、裂果初発予想日の前には作業のピークとなるよう計画的に実施しましょう。

イ 着果管理

速やかに仕上げ摘果を終了させましょう。作業は、着果過多とならないよう、単位面積あたりの着果量を確認しながら進めましょう。なお、裂果期間中の摘果は、他の果実の裂果を助長するおそれがあるので控えましょう。

(3) りんご

ア 着果管理

7月は花芽分化期に入るため、早急に仕上げ摘果を終了させましょう。

また、仕上げ摘果終了後には、小玉果や変形果、病虫害の被害果、傷果、サビ果等を対象に、随時修正摘果を行いましょ。

イ 枝吊り・支柱立て

果実肥大にともない枝が下垂すると、樹冠内部や下部の日当たりが悪化し、果実の着色不良等の原因となります。樹冠内部の日当たり改善と枝折れ防止のため、枝吊り・支柱立てを実施しましょう。

(4) ぶどう

ア 着房数管理

着房過多は、糖度の上昇を妨げ、赤熟れ果等の要因となりますので、ベレゾーン（水周り）期までに着房数の見直しを行いましょ。

最終着房数の目安は「巨峰」では3.3m² 当たり9～10房、「高尾」では10～11房とし、1新梢当たり1房を心掛け、弱い新梢は摘房しましょ。

イ 袋掛け

摘粒作業が終了し次第、薬剤散布の後に袋掛けを行いましょ。なお、袋掛けは、日中の気温が30℃以上となる条件下では、袋内温度の急激な上昇による日焼け果の発生が助長されますので注意しましょ。

5 病虫害防除上の留意点

(1) 病 害

ア ももせん孔細菌病

県内での発生は、依然として多い状況にあります。被害葉、被害果実は二次感染源となるため、見つけ次第せん除して適切に処分する等、耕種的防除を徹底しましょ。なお、薬剤防除の際は、収穫前日数に十分注意しましょ。

イ もも灰星病・ホモプシス腐敗病

早生種では灰星病の重要防除時期にあたるので、7月上旬および中旬に灰星病防除剤を散布しましょ。中～晩生種では灰星病とホモプシス腐敗病の同時防除が必要となるので、7月10日頃にいずれの病害にも効果がある薬剤を散布しましょ。

ウ なし黒星病

羅病部位は見つけ次第除去し、適切に処分するとともに薬剤による防除を徹底しましょ。

今後の降水により、二次感染を繰り返すおそれがありますので、防除に当たっては、散布間隔が10日以上開かないよう心掛けるとともに、薬剤の散布量は10a当たり300リットル（スピードスプレーヤの場合）を遵守しましょう。

エ りんご輪紋病、褐斑病、斑点落葉病

今後は、上記病害の被害の感受性が高い時期となりますので、7月上旬頃には、いずれの病害にも効果がある薬剤を十分量散布しましょう。

オ ぶどう晩腐病・べと病

薬剤散布直後に袋掛けを行い、病原菌の包み込みを防ぎましょう。

(2) 虫 害

ア 主要鱗翅目害虫

現在の主要鱗翅目害虫の発生時期は平年よりやや早く推移しています。フェロモントラップによる発生消長を参考に適期防除を心掛けましょう。

イ ナシヒメシンクイ

第2世代の防除適期は6月5半旬頃だったと推定されます。まだ防除を実施していない場合には速やかに実施しましょう。本種はもも等の核果類の新梢伸長が停止するとなし果実への寄生が増加します。また、高温年は交信かく乱剤のフェロモン成分が急激に揮発するため、7月下旬頃から交信かく乱効果が低下することがあります。例年、なしの果実被害が多い地域では、今回の世代から防除を徹底しましょう。

ウ モモノゴマダラノメイガ

本種の誘殺は7月上～中旬に一旦少なくなった後、7月下旬頃から再び増加します。被害が予想されるもも園では、7月2半旬頃まで防除を継続しましょう。被害果実は見つけしだい摘除して5日以上水漬けするか、土中深く埋めましょう。

エ モモハモグリガ

第3世代の防除適期は7月1半旬頃と推定されます。本種の発生には無防除のハナモモ園や放任園などが影響していると考えられるため、無防除園の管理や放任園の伐採等を行いましょう。

オ ハダニ類

高温が続く場合はハダニ類の急増に注意し、要防除水準（1葉当たり雌成虫1頭以上）の密度になったら速やかに防除を行いましょう。

表 主要鱗翅目害虫の防除時期の推定（果樹研究所 平成27年6月30日現在）

今後の気温 予測	ナシヒメシンクイ		モモハモグリガ	
	第1世代 成虫盛期	第2世代 防除適期	第2世代 成虫盛期	第3世代 防除適期
2℃高い	6月14日	6月24日	6月25日	6月30日
平年並	6月14日	6月24日	6月25日	6月30日
2℃低い	6月14日	6月24日	6月25日	6月30日

注) 演算方法は、三角法による。

起算日：ナシヒメシンクイ 4月27日、モモハモグリガ 5月29日

病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

<http://www.pref.fukushima.jp/fappi/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7339
(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL：http://wwwms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=22752#gi_jvutsujyouhou

ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング情報、イベント情報等をご覧ください。

URL：<http://www.new-fukushima.jp/>